

時代おくれ

作詞…阿久悠
作曲…森田公一

□□□

一日二杯の酒を飲み
さかなは特になら
マクが来たなら
マイクがおはこを一つ
十番(おはこ)を一つ
微笑んで
歌うだけ

妻には涙を見せな
男子供には愚痴を
酒場の嘆きは痴を
酒場の隅には置いて
置いてろ酔いで

目立たぬように
似合わぬように
人の心をぬぬ
時代の心を見つめ
人のお心を見つめ
時代の心を見つめ
似合わぬように
人の心をぬぬ
時代の心を見つめ

不器用だけれど
純粋な酒を飲ま
上手な酒を飲ま
一上一年一度酔っ
ぱらう

昔の友は
変わらぬ
あわれのこ
自分分れのこ
あわれのこ
自分分れのこ

ねたまぬように
飾ったたまぬ
好きたおな
時代のおな
ねたまぬように
飾ったたまぬ
好きたおな
時代のおな

目立たぬように
似合わぬように
人の心をぬぬ
時代の心を見つめ
人のお心を見つめ
時代の心を見つめ
似合わぬように
人の心をぬぬ
時代の心を見つめ

時代おくれ

作詞…阿久悠
作曲…森田公一

□□■

一日二杯の酒を飲み
さかなは特にこだわらず
マイクが来たなら 微笑んで
十八番(おはこ)を一つ 歌うだけ

妻には涙を見せないで
子供に愚痴をきかせずに
男の嘆きは ほろ酔いで
酒場の隅に置いて行く

目立たぬように
はしゃがぬように
似合わぬことは無理をせず
人の心を見つめつづける
時代おくれの男になりたい

時代おくれ

作詞…阿久悠
作曲…森田公一

不器用だけれど

しらけずに

純粹だけど 野暮じゃなく

上手なお酒を 飲みながら

一年一度 酔っぱらう

昔の友には やさしくて

変わらぬ友と信じ込み

あれこれ仕事もあるくせに

自分のことは後にする



時代おくれ

作詞…阿久悠
作曲…森田公一

■ ■ ■
ねたまぬように
あせらぬように
飾った世界に流されず
好きな誰かを思いつづける
時代おくれの男になりたい
目立たぬように
はしゃがぬように
似合わぬことは無理をせず
人の心を見つめつづける
時代おくれの男になりたい